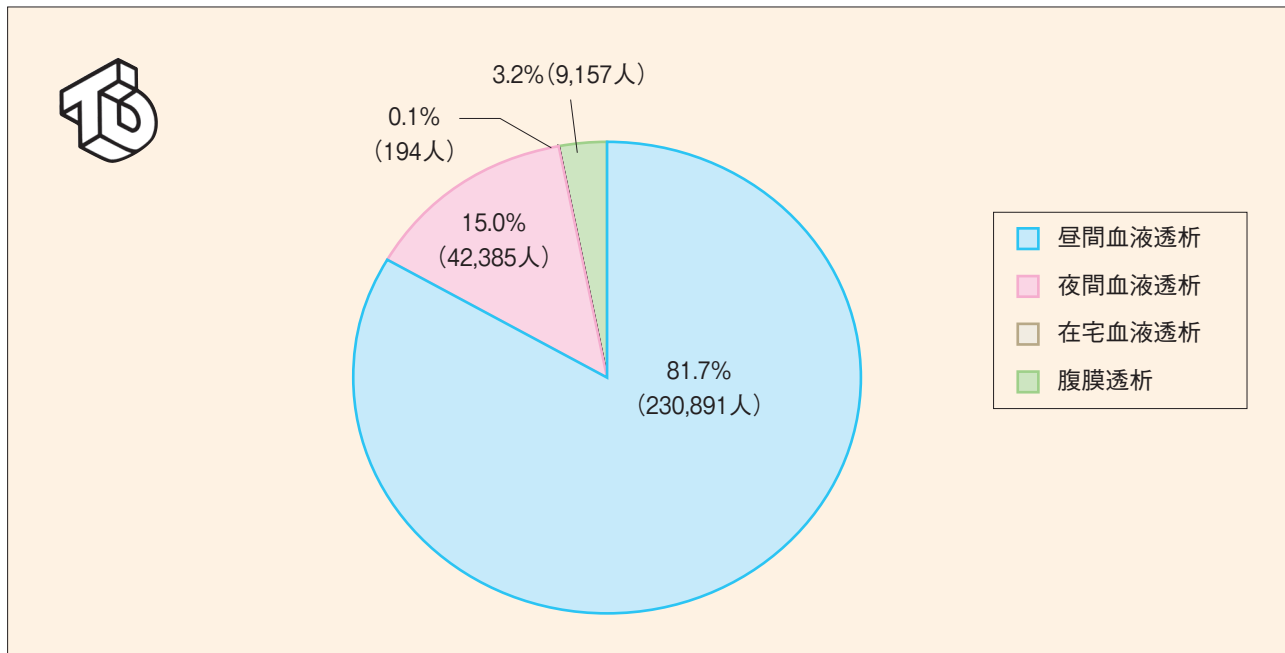


## 2) 患者数等

(5) 慢性透析治療の形態 (図表6)



都道府県名	昼間透析	夜間透析	在宅血液透析	腹膜透析	計
北海道	11,911	1,441	7	481	13,839
青森県	2,831	230	0	93	3,154
岩手県	2,268	344	0	125	2,737
宮城県	3,809	802	0	81	4,692
秋田県	1,697	186	0	69	1,952
山形県	1,823	277	2	156	2,255
福島県	3,927	385	0	224	4,536
茨城県	5,497	821	1	107	6,426
栃木県	4,352	768	2	58	5,182
群馬県	4,080	816	0	117	5,013
埼玉県	11,837	1,829	26	395	14,088
千葉県	9,872	1,903	0	242	12,012
東京都	21,129	5,259	6	818	27,212
神奈川県	13,205	3,207	8	427	16,846
新潟県	3,457	1,062	1	167	4,688
富山県	1,839	288	1	63	2,194
石川県	1,938	319	0	93	2,350
福井県	1,447	179	0	82	1,708
山梨県	1,748	223	1	48	2,020
長野県	3,603	628	1	124	4,356
岐阜県	3,483	629	1	143	4,256
静岡県	7,474	1,409	4	262	9,149
愛知県	11,364	3,184	36	540	15,125
三重県	3,088	563	3	130	3,784
滋賀県	2,005	400	12	112	2,529
京都府	4,504	1,042	2	241	5,789
大阪府	17,368	2,879	46	660	20,950
兵庫県	9,521	1,743	14	311	11,589
奈良県	2,536	312	4	110	2,961
和歌山県	2,363	270	1	30	2,664
鳥取県	1,051	124	0	96	1,271
島根県	1,243	152	0	99	1,494
岡山県	3,419	581	0	229	4,228
広島県	5,668	600	2	459	6,729
山口県	2,667	400	0	139	3,206
徳島県	2,002	290	0	174	2,464
香川県	1,761	139	6	214	2,120
愛媛県	2,737	488	1	154	3,380
高知県	1,831	247	0	40	2,119
福岡県	10,055	2,214	2	402	12,670
佐賀県	1,660	268	1	12	1,941
長崎県	2,940	495	1	145	3,587
熊本県	4,620	898	0	138	5,656
大分県	3,043	359	1	126	3,529
宮崎県	2,953	555	0	49	3,557
鹿児島県	4,040	469	1	104	4,614
沖縄県	3,225	708	0	68	4,001
合計	230,891	42,385	194	9,157	282,622

※慢性透析患者の総数は、シート I 患者総数欄の合計であり、治療方法別患者数の合計とは必ずしも一致しない。

施設調査による集計

### 解説

2008年における慢性透析患者の治療形態は昼間血液透析が81.7%で、前年度より0.3%増加した。夜間血液透析は15.0%で0.2%減少した。この傾向は2007年末の結果と同様である。腹膜透析患者数は9,157人で前年度より157人減少し、割合は3.2%で2007年末と比較して0.2%減少した。腹膜透析患者は全国に均等に存在したが、5%以上存在する県は7県であり、多い順から、香川県 (10.1%)、鳥取県 (7.6%)、徳島県 (7.1%)、山形県 (6.9%)、広島県 (6.8%)、島根県 (6.6%)、岡山県 (5.4%) であった。在宅血液透析患者数は194人で前年度より7人増加した。在宅血液透析は大阪府、愛知県、埼玉県、兵庫県、滋賀県、神奈川県、北海道からの報告が多かった。